

「かわいそうに思い」

箇所：ルカ 15 章 11～32 節

キリストは「放蕩息子」というたとえ話を通して罪について次のようことを教えて下さいました。

1. 罪は最初は楽しいかもしれませんが、しばしば後悔と屈辱をもたらすのです。
(11～16 節)
 - 箴言 5 章 3～5 節
 - ヘブル 11 章 24～25 節
2. 人は罪を犯すと特に神様に対して犯すので、犯した罪を神様にも告白する必要があります。(17～21 節)
 - 詩篇 51 篇 4 節
 - I ヨハネ 1 章 9 節
3. 神様は罪を告白した者を赦して下さいますし、ご自分の子供として受け入れて下さいます。(22～24 節)
 - ヨハネ 1 章 10～12 節
 - エペソ 1 章 3～5 節
 - I ヨハネ 3 章 1～2 節
4. 神様は罪人を哀れんでくださるので、私たちも同じように他人を哀れむべきです。(25～32 節)
 - ルカ 15 章 1～2 節
 - エペソ 4 章 32 節